

矢部清流学園
学校だより 9号



善遊善学

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 自ら課題に向き合い、自分の思いや考えをしっかりと考える子どもの育成

令和5年10月25日 文責 古川 志乃



第50回矢部地区・矢部清流学園合同体育祭 スローガン「みんなで一つに ～思い出に残る楽しい体育祭にしよう～」

昨年に続き、矢部清流学園の体育祭は矢部地区と合同で開催しました。10月15日（日）、秋晴れのさわやかな天気の下、子ども達の元気な声が響き渡りました。地域の方々からも、「子ども達に元気をもらいました。」「一生懸命頑張る子ども達の姿に感激し、涙が出ました。」との声をいただき、うれしく思っています。

この体育祭は矢部村の行事であるとともに、子ども一人一人が自分の役割に責任をもつ、仲間と協力し合って一つのことを成し遂げることに喜びをもつことをねらいとした大切な学校行事の一つです。一人一人が参加する競技や演技、そして係活動に責任をもって取り組むことで、「みんながhappyになれる！」ということ意識しながら、清流会執行部や紅白のリーダーを中心に練習に励んできました。これからも、様々な活動において、この体育祭での学んだこと、身についた力を発揮して行ってほしいと願っています。



「体育祭」振り返って・・・ 子ども達の感想から

清流会執行部	(9年) N. N	(9年) U. K	(8年) N. M	
紅組リーダー	(9年キョウマテ)	K. R	(6年) T. J	(5年) K. M
白組リーダー	(9年キョウマテ)	K. H	(6年) K. S	(5年) K. T

【子どもの感想から】(一部抜粋)

・「心を一つにする」ということを、意識していました。応援の時、しっかり声を出して、せいっぱい全力で体育祭に参加することができてよかったと思います。最高の体育祭にできたと思います。「やりきったぞ～！」・・・最高の気持ちです。『よっちょれ』は、「大きく」「強そうに」「きれいに」この3つを意識していました。さいしょのころは、全然だめだったけど、練習するにつれてどんどん上手になりました。次の体育祭では、下級生に教えられるようにがんばりたいと思います。

(5年 K.Mさん)

・選手せんせいで、しっかり大きな声でできたのでよかったです。応援や勝ちどきでは、しっかり大きな声で応援してがんばりました。『よっちょれ』をおどって、たくさんのはく手をもらったことが嬉しかったです。白組は負けただけ、みんな楽しく、スローガンを達成できたと思います。体育祭を通して、みんなで協力することを学び、自信がついたことが自分の成長です。来年の体育祭もがんばりたいです。

(5年 K.Tさん)

・入場行進がちがう曲になっても、みんなと足ぶみを合わせることができました。選手宣せいを初めてして、元気いっばいに声を出せたので、みんなが気合いを入れる力になれたと思います。『よっちょれ』はかけ声を限界まで出して、おどりを大きくして大きな拍手をもらってうれしかったです。勝どきでも、「紅組です！」で会場が盛り上がったと思うので良かったです。清流会種目では、後半のかけひきがおもしろくて、本番にして最高の種目になったと思います。(6年 T.Jさん)

・結果から言うと負けてしまったけど、とても楽しい体育祭になりました。くやしい結果になってしまったけれど、みんなと協力して成しとげることがわかってよかったです。清流会種目など、白組が勝ったし、ちはやさんと力を合わせてがんばることができてよかったです。ゆり組の人たちといっしょにはとぼっぽをおどれてよかったです。(6年 K.Sさん)

・今回の体育祭を通して、自分の役割、仕事を果たす責任感を感じることができたと思う。1～4年生は、5～9年生の指示をしっかりと聞いて、行動できていたと思うし、互いによく注意も合っていた。今後の活動が楽しみだし、頑張りたい。5～6年生は、下級生を引っ張りながらも、上級生のサポートもしていて、とても頼りがいがあった。7～9年生は、これまでの経験を活かして行動できていたし、臨機応変に対応できていたと思う。今年、紅組のリーダーになって、とても忙しかったけど、最後までやり遂げられたと思う。今年の体育祭は本当に最高だった。こんなぼくについてきてくれた1～9年生に本当に感謝している。(9年 K.Rさん)

・上級生が下級生に教えていたり、声かけしたりしているところを見ることができて、うれしかったです。今までよりもっと全体を見ながら行動できるようになりました。事前に打ち合わせすることの大切さやみんなで協力することの大切さに改めて気づくことができました。これからは、この体育祭で得た力をいろいろな活動で活かしていきたいです。応援を教えたとき、みんなが大きな声で言ってくれてとてもうれしかったし、自分ももっと頑張らなければならないと思うことができました。今年は、9年生にとって最後の体育祭でした。しっかり、今年のスローガン「みんなで一つに～思い出に残る楽しい体育祭にしよう～」を達成することができました。今までで一番楽しい思い出になりました。(9年 K.Hさん)

1・2年生 ふれあい田んぼの稲刈り 10月6日(金)



1・2年生が、特別養護老人ホーム「ゆいのもり」の方々、矢部保育園のみなさんと一緒に田植えをした稲が大きく成長し、黄金の稲穂をつけました。10月6日(金)、社会福祉協議会の方々の運営で、田植えをしたメンバーが再度集まり、共に汗を流しながら稲刈りをしました。一人一人鎌を持って刈り、刈った稲穂を束ねて藁で縛り、竹で組んだはざにかけて天日干しにします。おいしいお米となって、給食で食べる日が待ち遠しいです。

この日まで、大切に田んぼのお世話をしていただいた堀下幸裕さんに感謝をするとともに、地域の方々、保育園のみなさんと協働作業したことに大喜びする子どもたちでした。



【子どものお礼の手紙から】一部抜粋

・いままでいねをおせわしてくださってありがとうございます。さいしょはうまくできなかったけど、ずっとやっていたらうまくできるようになりました。ざくっというおとがきもちよかったです。できたおこめをたべるのがたのしみです。(1年 N.Jさん)

・田うえやいねかりのことを教えてくださってありがとうございました。むすび方や長いぼうにつりさげるしかたも教えてくださって、1年生やほいくせんせいもよくわかりました。2年生みんなでかんしゃしています。だれもけがしなかったのは、いねかりを教えてくださいました人が上手だからだと思います。おいしいおこめがたのしみです。(2年 S.Sさん)

お礼とお詫び



先月の学校通信にて、ブドウ(ピオーネ)の提供があったことをお伝えしておりましたが、提供者のお名前に記入漏れがありましたことを訂正してお詫び申し上げます。ピオーネを生産し給食に提供いただいた方は、栗原昭典さん、小森清実さん、高山博由さんです。大変失礼いたしました。改めて、3名の生産者さんに感謝申し上げます。

また、田島富士雄さん、栗原裕典さんより、新米をいただき、現在、給食に提供させていただいております。やはり「新米はおいしい！」ピカピカ輝く新米を食べて、元気モリモリの子も達です。

さらには、体育祭の際に紹介がありましたが、昇盛会のみなさまより寄付を賜りました。教育活動の充実のために活用させていただきたいと思っております。地域の方々のご支援、本当にありがとうございます。

大袖公園祭 10月8日(金)

14世紀の南北朝時代、九州で南朝復興を目指しながら矢部村で亡くなられた後征西将軍の良成親王をしのぶ「大袖公園祭」が、命日にあたる10月8日(日)に開催されました。あいにくの天気で、本年度は矢部公民館しゃくなげホールにて行われましたが、地元保存会による「公卿唄」や「浦安の舞」が奉納されました。

600年以上に渡って、矢部の方々によって守られてきた歴史・文化資源ですが、この歴史が結ぶ吉野町(ハ女市の友好都市)に、本年度8年生が修学旅行で訪問し、吉野町にある小中一貫校「吉野さくら学園」の中2の生徒38名と交流活動を行います。その活動につなげるために、8年生は、受付や会場の設営等のボランティア活動に務めました。



善遊科「おたのしみ会」 10月6日(金)

本校は、1~4年生を善遊科、5~9年生を善学科と区分しています。10月6日(金)に、善遊科全員の「お楽しみ会」を行いました。その企画・運営は善遊科のリーダーである4年生が担当しました。4年生は、この「お楽しみ会」を成功させようと、計画的に準備を進め、先生の手を借りずに、自分たちで一生懸命にゲームの説明をしたり、場を盛り上げたりしていました。その努力の成果、参加した善遊科の子ども達は終始笑顔いっぱいにゲームを楽しんでいました。



【新しい先生の紹介】

中尾 泰弘 先生(保健体育科) 3~9年生の体育の授業を担当(月、火、金に勤務)
菊地 有咲 先生(英語科) 日本語指導の支援、英語科授業のティームティーチング(月、水、木に勤務)

後期、新しい職員体制で努めてまいります。よろしくお願いたします。